

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL

135

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

きれい

巻頭インタビュー

感謝という意味を込めて、一期一会

三重を撮る写真家
三重県観光連盟の公認カメラマン

多田 良平

シスターナホール(大塚国際美術館)

撮影 第2南勢就労支援センター 本山 清教通信員



きよづきょうけいこく
清津峡溪谷トンネル

昭和63年の落石以来、閉鎖されていた清津峡溪谷。雄大な清津峡の大自然をより安全に、より安心して鑑賞していただけるよう、1996年10月に「清津峡溪谷トンネル」が誕生。さらに、2018年の第7回 大地の芸術祭で、マ・ヤンソン/MADアーキテクツによるアート作品「Tunnel of Light」としてリニューアルしました。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1
すべての出会いに感謝という意味を
込めて、一期一会

三重を撮る写真家 **多田良平さん**

■なかま ————— 6
陶芸クラブ
～八野生活介護支援センター～

■道のり ————— 7
社会的事業所 まかせ太君

■ハートフルリレー ————— 8
AIプロジェクトチーム始動

AI・ICT担当 **田村 裕佳**

■春夏秋冬 ————— 10
行事・クラブ・活動紹介

■きれイトピックス ————— 18
福祉みえの表紙を飾る
合同慰霊祭

■職員の休日 ————— 20
踊り三昧!!
第2南勢就労支援センター **山田 航平**

■きれいの動き ————— 表3
新職員・人事異動他



丸山千枚田(熊野市)



オハイの青い海(尾鷲市)



竹原の淡墨桜(津市)



長太の大楠(鈴鹿市)



夫婦岩(伊勢市)

全ての出会いに 感謝という意味を込めて、 一期一会

三重を撮る写真家
三重県観光連盟の公認カメラマン

多田 良平 さん



津城(お城公園)(津市)



坂本の棚田(亀山市)



熊野花火大会(熊野市)



四日市コンビナート(四日市市)

多田：…もともと三重県出身で、一丁関係の仕事をするのに関東の方に住んでいたのですが、一旦一丁の仕事に休憩しようと思い、江の島と鎌倉の景色が好きなので江の島に引っ越し、飲食店で働いている時にカメラ好きの友人との交流をきっかけにカメラを始めました。

最初は、カメラの仲間たちと江の島の風景を撮影して、写真集を作りコミックマーケットで販売していました。

今回のインタビューは、三重を撮る写真家として活躍されている三重県観光連盟の公認カメラマンふがまるちゃんこと、多田良平さんです。インタビューは宮の里ミタスマメモリアルホーム山口と二見生活介護支援センター潮草草です。

Q1. 写真を撮る始めたきっかけを教えてください。

二重県津市生まれ(HN:ふがまるちゃん)
二重を撮る写真家としてTwitterで活躍。三重県立津工業高等学校卒業。元々は湘南の風景を中心に撮っていたが、三重への帰省がきっかけで地元三重の撮影を2017年2月から始める。一番最初に撮影した場所は鳥羽展望台。青く美しい三重の海に感動し、仕事休みの毎週末は三重の撮影に出かける日々が続く。津市久居東鷹跡町の惣菜屋「フーディショップフレイ」に勤務し、三重県観光連盟の公認カメラマンとしても活動中。



Q2. カメラを撮り始めてどれくらいになりますか？

多田：カメラの経験年数的には三重県に戻ってから4年。江の島にいた頃を含めて6年になります。そして三重県に戻って来てからは、江の島の風景が好きだったので、3か月程は何も写真を撮らなかつたのですが、せっかくなので地元三重県の景色を撮ろうと思い、鳥羽展望台で写真を撮ったのが始まりでした。鳥羽展望台から見える海が青く綺麗でびっくりしたので三重県の手もきれいだと思いました。



撮り終わった後三重県にはどんな場所があるのかと調べてみると、梅スポットがあるのだと知り、津市の結城神社やいなべ市の農業公園などを巡ったりしているうちに、三重県もいい景色が多いんだなと思ひ毎週撮りに行くようになりました。気が付いたら4年がたっていました。

最初の3年ぐらひは一人で写真を撮りに行ってTwitterに写真を投稿し



ていて三重県の景色は反響ないと思っていたが、大阪の河津桜をTwitterに投稿したところ400人もフォロワーが増えたことで手ごたえを感じて、三重県の景色いけるんだと思ひ積極的に写真を撮りに行くようになりましたね。写真集「三重県のええところ写真集」も6冊目になりました。

Q3. カメラの魅力を教えてください。

多田：カメラの魅力はやっぱり思ひ出を残せることです。

私の写真はみんなその時感動した景色だけを撮って「いいなあー」と思った瞬間を撮影しています。今まで10万枚ぐらひ撮ってきましたが、すべての写真をこういふ時はこういう感動があつたなというのをすべて今でも覚えていますね。

Q4. 一回の撮影にどれだけの時間をかけますか？

多田：1時間から2時間ぐらひかけて1回の撮影に500枚〜1000枚ぐらひを連写してそのなかのベストの一枚を写真集に入れています。4年やっていると同じ場所でも撮影することがありますが、この角度がいいのかなとか時間や時期によつても景色が違います。1回で上手くいく時もあるのですが、南伊勢のおおさのりの養殖を撮影した時は、日当たりが悪くて来年取りに行こうという時もあつたりと、2回、3回、4回、5回と時間をかけることでベストの写真を撮ることが出来ます。

Q5. 好きな季節を教えてください。

多田：4月から8月ぐらひが好きですね。青空と緑がすごく好きで4月から緑色の葉っぱが出て来て、8月9月がピークになります。4月から8月9月が青空の色がすごく夏っぽい色になります。横山展望台にも20回以上行って4年ぐらひかかつてやっと霞のない青空と緑の景色を撮ることができました。

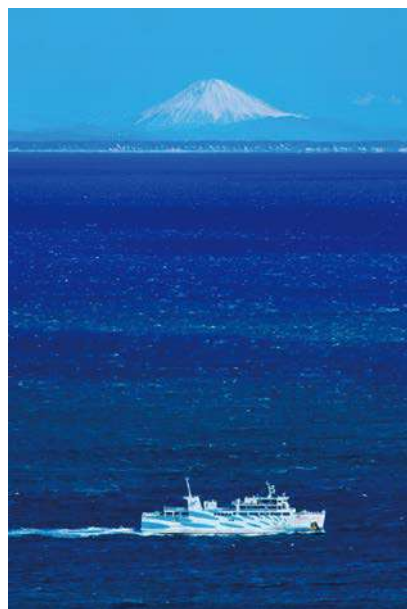
Q6. 三重県の写真家として活躍されていますが、県外でここを撮ってみたいというところはありますか？

多田…鎌倉と江ノ島は撮り尽くしたので、
沖縄の海を撮ってみたいです。

沖縄に1歳から5歳の時まで住んでいた事があつたので、20数年ぶりにいくことになるのですが、写真を撮ることで当時の海を思い出せるのではないかと思いますね。

Q7. 今まで写真を撮ってきた中でこれが一番という写真はありますか？

多田…いろいろなあつて選べないのですが、一つ選ぶとしたらもう二度と撮ることのできないだろうなと思うのが、鳥羽展望台からの富士山ですね。この写真も、もと撮る予定はなくて、2月だから鳥羽に行つて牡蠣食べに行こうと思つて行つたんです。食べ終わったあとに牡蠣小屋の外を見ると、雪の積もった御嶽山が見えたんです。この距離で御嶽山見えるなら鳥羽展望台から富士山見えるのではないかなと思つて鳥羽展望台に行つたらバッチリ見ることができたんですね。周りの観光客誰も気がついていなくて私が「あ、富士山見える」と言つたら周りにいた人がどつと来たんですよ。それでカメラを構えて写真を撮っていたらちょうど伊勢湾フェリーがやってきたんですね。実はこの伊勢湾フェリーは広島の方へ行っていた船で、メ



ンテナンスのためにいつもと違う航路をたどってきたんですね。だからもういろんな偶然が重なつてこの一枚を撮ることができたんですね。船もタンカーぐらいは通るので、タンカーにピント合わせていたのですが絵にならなくて、まあいいかって諦めていたら急にやってきたので、しまったカメラを慌てて取り出してうまくピントが合つて撮ることができました。

河津桜を撮るときも4時間ぐらいかかりましたね。風が止まるのをずーっと待つていて一緒に撮っていた友達と話していたときに



ピタツと風が止まって「風がやんだよ。今が撮るチャンスだよ」と言つてくれて撮ることができたんですね。その友達がいたからこそ撮れた写真ですね。友達がいなかったら諦めて帰っていました。青山高原の夕日を撮るときも、大王崎灯台の満月も、フォロワーさんや一緒に行った人の一言があつたからこそ撮れた写真と言うのが多いですね。



Q8. 今年、浅田家という映画が公開されていますが、浅田家は家族写真がメインで津を舞台にしているわけですが、もし、ふがまるさんが映画を出すとしたらどのような映画にしたいですか？

多田…三重県を全域に伊賀から志摩まで全部東西南北を写真を撮っていく映画にしたいですね。

Q9・今まで写真を撮りに行った中で、是非今後の外出支援の参考にさせていただきたいのですが…

北勢、中勢、南勢でそれぞれのオススメのスポットはありますか？

多田…季節によりけりですが北勢でしたらもつすく梅の時期なので、いなべ市農業公園でしたり、鈴鹿の森庭園などですね。中勢ならいつぱいあるのですが、美杉はいいですよね。あそこは秘境です。南勢なら南伊勢はいいですね。あそこはまだ開拓されていないところが多いので海沿いをドライブするだけでも楽しいと思います。

Q10・撮影されている中で、バリアフリーやユニバーサルデザインについてお気づきになりました点はありますか？

多田…三重県は自然をそのまま使っているところが多くて、バリアフリーに配慮しているといったところはあまりないのですが、横山展望台はスロープもついている見やすくなっている、三重県の中で一番バリアフリーに配慮している場所なのではないかと思っていますね。

熊野古道など手を加えていない場所も多いですが、変に観光開発していないといった面では自然そのままの所が良いですね。

特に東紀州や尾鷲、熊野はほとんど手を加えていないので町並みが綺麗ですし、昔懐かしの物が残っていますし、原風景が広がっていますよね。

Q11・現在コロナの時期もあるのですが撮影されているときにコロナ対策でされていることはありますか？

多田…密を避ける時間帯に行っていますね。なばなの里に行くにしても閉園一時間前にいくようにしていますね。食事に行く際も人が多い時間帯を避けています。

Q12・インスタグラムやTwitterでも写真を投稿されていますが、県外での写真展など、県外の方に三重県の魅力を伝えるといったことを考えられていますか？

多田…大阪で「トラベルガールズフェスタ」という旅好きの女子をターゲットにしたイベントがありまして、久居アルスプラザで展示した写真パネルを大阪でも展示します。

また、例年でしたら大阪に行つてセミナーを開くのですがコロナの関係で今回はズームを使つてのオンラインセミナーも開催しましたね。このイベントでは三重県をPRするブースが有りまして浅田家のブースと私の写真を展示するブースも

あるのです。そのイベントが終わったあとは三重県の広報系の関西事務所や近くの商店街にも写真パネルが展示されます。

Q13・ふがまるさんの職場でもあるフードショップヒライのおすすめのメニューを教えてください。

多田…いろいろあるのですが味ご飯がおすすめです。私が焼いた照り焼きも美味しいですし、全部おすすめです。



Q14・今後の目標としてここで写真展をやりたいというのはありますか？

多田…ぜひ東京でやりたいですね。その他の県外でも。それと毎月のようにどこかで写真展したいですね。11月は四日市の湯守座、12月は鈴鹿の図書館、3月は志摩の図書館で写真展をしますね。1月2月はまだ決まっていないのでどこかでしたいですね。

Q15・自分の中で大切にされている言葉はありますか？

多田…「幸せ」という言葉ですね。人によっていろいろ幸せに感じる瞬間があると思いますので、その人が幸せとを感じる瞬間を撮って行きたいとおもいますし、そういったイベントも開催して行きたいですね。

Q16・最後に様々な障がいを抱えながら、日々の生活を送られているみなさんにメッセージをお願いします。

多田…今って楽しみ方は色々あると思います。障がいとか健康とか関係なく楽しむ方法がいっぱいあると思うので、障がい者

だからと言って諦めるのではなく、個人個人が人生で楽しめる方法を見つけたらお互いに提案したり日々を楽しめるような日常を過ごしていただきたいと思います。

多田さんありがとうございました。これからも三重の魅力は沢山のの人に知って頂きたいです。





陶芸クラブ

☆八野生活介護センター☆

1997年9月に陶芸クラブができた。たくさん利用者が参加し、陶芸のボランティアの水谷先生が指導している。職員の担当は小林と中濱が中心となって、活動を進め技術を高めるため日々勉強している。

利用者が粘土をこね、器や皿に形を作っている。電氣ろくろで作ると表面が滑らかになってきれいな器になる。それ以外はひも状にして器を作る方法や平らにして皿に整える方法等、作り方はそれぞれである。仕上げに水谷先生が整えてきれいに作っている。

その後乾燥して窯で焼いた後、好きな色を塗っていく。特殊な薬品につけてまた焼いて完成した作品に喜んでいた。

活動中は面白い話をして笑い声をあげることがある。電氣ろくろを使っている人は、真剣に作っているの、よく水谷先生に質問していることが多い。

去年、宮崎加奈子さんの作品「夏茶」が芸術文化祭で受賞した。宮崎さんも喜んでいた。



陶芸窯



2019年受賞作品



真剣に作ってます



ご指導のもと



陶芸クラブメンバー

道のり まかせ太君 重機導入・重機車庫完成

伊勢亀鈴会において、
便利屋事業「まかせ太く
ん」を開始して、早10年
が経とうとしている。

北勢と南勢において、
事業展開を進め、規模も
拡大を続けてきた。

それに伴い、地域、行
政の皆様から様々なご注
文も頂けるようになり、
多種多様の技術、技量が
必要となった。

様々な事案を引き受け
る事の出来るように、高
所作業車、ユンボ、乗用
式草刈り機、といった重
機を導入し、八野の敷地
内に重機を保管する車庫
も設置した。

今後、北勢まかせ太君、
南勢まかせ太君が、それ
らを活用しながら更なる
事業展開を可能にし、障
がい者雇用、利用者さん
の工賃アップに繋げてい
きたいと考えている。



完成した重機置き場



乗用式草刈り機



ユンボ



まかせ太くんのメンバー（北勢）



高所作業車



Aープロジェクトチーム始動

AーICT担当 田村 裕佳

伊勢亀鈴会の中期経営戦略には「Aーの導入」が掲げられています。これには、介護職員の間接稼働を削減し、利用者支援にかかわれる時間を増やし、質を高めることが求められる、という背景があります。

Aー導入の取り組みとして、10月1日に「Aー・ICT推進プロジェクト」(以下「PT」)が立ち上がりました。ここではPTの活動と介護におけるAー活用の可能性について触れます。

プロジェクトの狙い

PTでは、AーやICTを活用し、仕事のし方を変えることを目指しています。よく「何というAーをいれるのですか」「どこにAーですか」と聞かれますが、Aーはモノではなく、また目的でもなく、手段に過ぎません。

Aーを使った事例は多くありますが、自分たちの仕事のどこでどのようなAーやICTを使えばよいのかを検討する必要があります。そのためPTでは、①業務棚卸を行い、②工程・作業における問題点を抽出し、問題の大きさや原因を分析します。そして問題解決に向けた③課題を設定し、④課題

克服に向けた対策を検討します。この対策に、AーやICTを使うということが手段として考えられます。

今期のPTは対策を描き出すことをゴールとしています。

Aー活用の可能性

ところで、Aーとは何なのでしょう。実は、Aーには確たる定義がありません。従い、ここでは、Aーの特徴的な機能とそれを介護にどう活用できるかを例示することにします。

Aーには音声や画像を認識したり、言葉を解析する「識別」という機能があります。例えば送迎車両にだれが乗車したかを判別して記録する、発熱していないか、人が密になっていないか、転倒したり危険な状態になっていないか等を検知することができ、ます。食事や入浴の介助等、介護者がどんな動き、姿勢をしたかを認識して、行為を記録することもできます。

次に、Aーには数値や意図、ニーズを「予測」する機能があります。排泄や体調変化を予測し利用者に先回りして介助する、通所サービスの利用者数を予測し職員の適正



ICTとインクルージョンの流れ

スマートインクルージョンという言葉が聞かれたことはありますか？

本格的なAーの時代をむかえ、障害のあるすべての人々がICTの利便を享受し、これまでできなかったことも含め、自らの意思を容易に実現し、社会への積極的な参画を可能にしようというのがスマートインクルージョンの概念です。

例えば、日常生活における移動や意思疎通等の制約を無くす、教育面では就業に役立つICTスキルやリテラシーの習得を行い、スキルに合った適正な職業への就業や地域活動への参加をできるようにすること等があげられます。

スマートフォン等の普及に伴い、障がい者に向けたアプリも多数登場しています。例えば、コミュニケーションを支援する



AIPTキックオフミーティング

配置に活用することがきます。また、利用者毎の好みを分析し、レクリエーションや趣味活動等をおススメすることが出来ます。介護プランの提案にもこの機能を活用できます。

もう一つ、AIには表現を生成したり、行動を最適化する「実行」という機能があります。ロボットによる移乗の支援や見守り、施設の見回り、利用者との会話による癒し等が考えられます。事務作業におけるデータ入力自動化等も普及してきました。

人とAIの棲み分け

このようにAIには様々な活用可能性が備わっています。大事なことは、どのような機能をどのような場面で使えばよいのか、それによって仕事のし方はどのように変わり、利用者の満足や体験価値の向上にどのように繋がるかです。

因みに、AIは人に代わるものではありません。AIにできることはAIに任せて、人でなければできない利用者への寄り添いや付加価値の高い活動が求められてきます。PTはその検討の入り口にたったところです。また、AIをえるようにするための諸準備もあります。ロードマップとあわせ、適宜お知らせできるようにしていきます。

アプリでは、聴覚障がい者向けの110番通報アプリや、相手の言葉をリアルタイムに文字で表示する電話アプリ等々があります。ADHDの子どもの対象にした時間管理のアプリ、交差点の歩行者信号の状態を教えてくれるアプリは視覚障がい者の外出を助けてくれます。

アプリの有効性や安全性は正しくチェックしなければなりません。障がい者がICTを上手に使い、活動や生活がしやすくなるような支援も大事になってきます。

新たなミッションとして、利用者のAI、ICT活用に向けたプログラムの整備も進めて行きたいと思っています。

◆Artificial Intelligence 人工知能

◆Information and Communication Technology 情報通信技術

◆インクルージョン (inclusion) 介護や障害などの有無を問わず、 すべての人が差別なく受け入れられる 社会。社会的包摂

八野生活介護センター

八野生活

グラウンドゴルフ大会！

10月18日(日)

八野生活介護セ

ンター内でグラ

ウンドゴルフ大

会を行った。前

日に少し雨が

降ってグラウン

ドが使えるか心

配だったが、晴

天でグラウンド

が乾いた。午前

中は練習として

室内で行った。

初めての利用者

さんはなかなか

思ったコースに

いかず苦戦して

いた。慣れてい

る利用者さんは、

勘を取り戻しス

ムーズに入ってい

た。午後はグラ

ウンドで行った

と引き続き室内

で行った。外は

少し肌寒く厚着

をしてグラウン

ドゴルフを行った。

室内と違うため、

ばんざーい

頑張ってるぞ

応援

勝利のジュース

ハロウィンパー

ティーin八野

10月30日(金)、

日中活動にてハ

ロウィンイ

ベントを行っ

た。午前中は魔

法使いなどの

衣装や、職員

お手製の顔出

しパネルを使

つての撮影会。「かっこいい」「かわいい」

などと声を上げながら、好みの衣装を選ん

でいた。撮影時は誇らしいような、やっぱ

り気恥ずかしいような、様々な表情をされ

ていた。

午後はハロウィ

ンとんとん相撲

ドコドコと力強く

台をたたくと、オ

バケや魔女がお相

撲さんにかわって

台の上を動き回る。

白熱したトーナメ

ントを制した利用

者さんは、「やつ

た」と満面の笑

み。ハロウィンら

しい、ドキドキわ

くわくがあふれた

イベントとなった。

トリックオアトリート！

懐かしのパッドマン

ハロウィンとんとん相撲

思わず笑顔の魔女とウサギ

10

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

どんぐりひろい

11月3日(火)、前日の雨で心配されたどんぐりひろい。当日は、良い天気。道路を横切って隣の深谷公園へ。入ってすぐにどんぐりを発見。「あったー」と言っていてしゃがみこむ児童。どんどん先に進む児童も。少し歩くと絶好のどんぐりポイントがあり、ソフトボールをしている女子達の隣で「どんぐりみつけた」と大騒ぎ。拾ったどんぐりは、少しずつ持ち帰り、残りは、裏の林へ。URAURAの裏でのどんぐり拾いが楽しめた。



たくさんあって手に持ちきれないほどです。



大きいものや細長いものもあるね



どんぐりあったよー



小さくてすぐに手から転がっていきます。



帽子がついてるものもあるな

放課後等デイサービスURAURA稲生

URAURA秋祭り

URAURA稲生オープン「二周年」を迎えるにあたり、10月17日(土)、URAURA秋祭りを行った。

わなげ、ヨーヨー釣り、お菓子つかみ、ボールプールと各コーナー楽しみが盛り沢山だ。お菓子つかみでは、箱の中へ手を入れ「どのお菓子かな?」「これはじゃがりかな?」「と胸を膨らませ選んでいた。中でも人気だったのが、ボールプールだ。嬉しそうに飛び込んだりボールを投げたりして身体を動かした。

そして、スクリーンを見ながら盆踊りの「うらじゃ音頭」を元気に踊った。「手、肩、肩それ!」と聞いているとつい一緒に口ずさみたくなるような歌詞、リズムだった。

最後にビンゴ大会をした。タテ、ヨコ、ナナメ、いずれかの1列並びで数字が選ばれるたびに手元のカードと一緒にチェックした。「あと一つで揃うよ」「ビンゴになった」と元気に手を挙げ教えてくれた。いくつかの景品の中から好きな物を選び嬉しそうに笑顔を浮かべる姿が見られた。

URAURA秋祭り、皆で楽しいひとときを満喫できたと思う。来年は、コロナも終息し親子で開催できることを願っている。



ヨーヨー釣れたよ〜



ふわふわだよ



何のお菓子が出るかな?



このおもちゃにしよう



このお面にしよう!



見て〜これにしたよ!

わ〜い!気持ちいいね

八野就労支援センター

ハロウィンパーティー

10月30日(土)、ハロウィンパーティーが開催された。

自分たちで選んだ衣装をして、ビンゴゲームを楽しんだ。

ビンゴになると大きな声で「ビンゴー」と言う利用者さんも多く、賑やかな雰囲気が進められた。

また、ワクワクした表情で景品を選ぶ姿が非常に印象的であった。仮装姿を思い出に残そうと、写真撮影会場を作り、撮影会も行った。撮った写真は、1日の振り返りでスクリーンに映し鑑賞し、何の仮装をしたのが当てたり、自分の写真が写ると「私だ！僕だ！」と手を挙げたりと、大盛り上がりで締めくくった一日であった。



お菓子くれなきゃイタズラしちゃうぞ



ミッキー&ミニー



ハッピーハロウィン！



かぼちゃのコスプレ



魔女の帽子がよく似合います

ウエス新商品 きれい君

八野就労支援センターでは長年ウエスの生産販売を行っている。

コロナウイルス感染症が大流行している中で、私たちが生産するウエス製品を使って、感染症対策に役立てたいと思い新開発した。その名は「きれい君」 亀鈴会と清潔の意味から横山理事長が命名した。生地は不織布であり、薄いガーゼの様な風合いで、多用途に使えることが特徴。施設内の清掃や消毒での使い心地が良く、職員からも高評価である。

利用者さんが一枚ずつ丁寧に折りたたみ、箱詰めをしていく。

はじめての作業で、戸惑う様子もみられたが、一生懸命手順を覚え、イキイキとした姿で生産を行っている。11月の下旬より、たくさんのお客様から注文も入り、大忙しとなった。

これからも私たちが作った「きれい君」で感染症対策を行い、みなさんがコロナウイルスに負けず、元気に過ごして欲しいと願いを込めながら生産していく。



これから頑張って生産します



頑張って折り方覚ええました



心を込めて折りたたみます

きれいサポートステーション

食欲の秋を楽しもう!!

10月7日(土)、31日(土)の2回に分け、河芸公民館を利用し、参加者は延べ37人で食欲の秋を楽しもう(調理実習)を開催した。全利用者の体温チェック、手指消毒、マスク、換気など可能な限りコロナ対策を徹底したうえで実施した。

調理メニューは、かぼちゃシチューとヨーグルトと果物のデザート。季節の食材をメインに食欲の秋を楽しんだ。

6グループに分かれ、各班に職員1名を配置し調理を行った。普段、包丁を持ったことの無い利用者さんも、職員に教えて貰いながら野菜を一生懸命カットしている姿があった。利用者さん一人ひとりに役割を持っていたきながら調理を行ったこともあり、予定時間よりも早く料理が完成できた。全員で「いただきます」と食事をし、「自分達で作ると美味しいね」「これ、私が切った野菜」など楽しい会話をしながらの食事となった。皆で作って、皆で食べることで、より美味しく食が進み、3杯も食べられている利用者さんもいた。帰りのバスの中では「今度は何を作るの?」「またやりたいです」といった声も沢山聞いた。



頑張った～



美味しい!!



完成!!



慎重に切って...



煮込みます

日本全国すぐろくの旅

開催!!

11月7日(土)に、三重県スポーツ大会の代替行事として、八野就労支援センターの食堂を借りて、「日本全国すぐろくの旅」という行事を開催した。

40人の利用者さんが参加してくださり、全7回戦に分け、各グループ二人一組の3チームずつで1位のご当地景品を争った。

サイコロの出目で、北海道コースか沖縄コースに分かれてもらい、マスを進めるたびに各都道府県の名所や名物にちなんだ内容が書いてあり、利用者さんは一つひとつのマスに一喜一憂している様子が見てとれた。

2つのゴールには本間課長と職員の長岡さんが待ち構えていて、ゴール前でその職員とのラスボスバトルに勝って、ようやくゴールできるルールだった。

ラスボスの職員がゴールに立ち、はだかって何回も勝てないことがあり、やっと勝ったときにはすごく喜んでいる様子が見られた。



景品 ゲット!!



入魂の一投!



参戦準備 万端

南勢就労支援センター

「いいね」活動

今年度南勢では、地域貢献活動を行い、その活動を新聞にして公共施設に貼り出すことで、「いいね」を集める活動をしている。

「いいね」とは、SNSでコメントや画像等、自分が気に入ったものに共感の意思を示す機能で、SNSではこの「いいね」がたくさん集まる投稿が評価される傾向にある。

南勢では、新聞の横に、シールを貼れるボード（いいねボード）を用意し、そのボードにシール（いいねシール）を貼ってもらう事を「いいね」として集計している。

貢献活動の内容は、地域の福祉課等から、その地域の中の困りごとを聞きだし、自分達の出来る方法で形にするというもの。

度会町では、コロナウィルスの流行により、子供用のマスクが不足しているというニーズを伺った。手作りマスクを寄贈した所、寄贈先の放課後児童クラブの生徒さんひとりひとりから、サンキューレターを頂いた。自分たちの活動が地域から共感して頂けるのか心配もあったが、目に見える形で評価して頂けた事で、利用者さんも職員もこの活動に自信を深める事が出来た。

この活動は当初、年6回で、「100いいね」を獲得することが目標だったが、なんと一回の活動でクリアー！現在は、目標を「500いいね」に上方修正し、絶賛活動中だ。

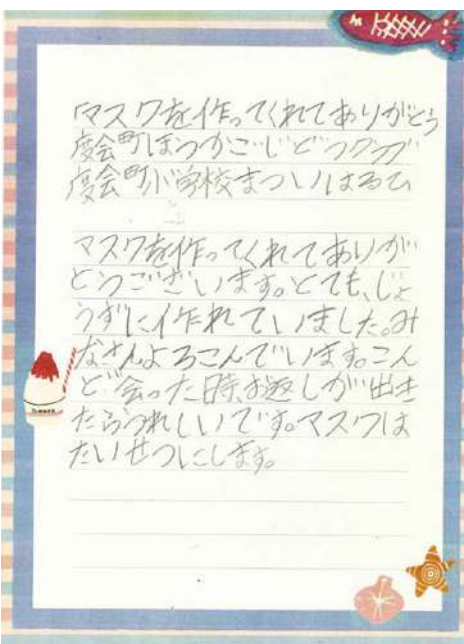
社会福祉法人には、公益的な取り組みを通じた地域への貢献が求められている。次年度以降も継続的に地域貢献活動を行い、地域で存在感のある施設になっていければと思う。



海岸をきれいにしました



お寺の掃除をしました



サンキューレター



マスクありがとう!!



「いいね」いっぱいもらいました

第2南勢就労支援センター

できた先にあるもの

第2南勢就労支援センターでは4月から「自分達の手で物をつくる」ことに取り組んできました。

創造性、巧緻性、計画性など様々な観点から日常生活における能力が向上できるように工作を通じて、利用者さんと関わりを持つ事を心がけている。先に述べた3つの能力は職員から見た利用者さん得意・不得意である。第2南勢の利用者さんは創造することが計画をたてることより得意な方が多い。

①創造性について。基本的に「自分達の手で物をつくる」の中には「自分達で考える」が含まれている。何かを作るとき何かの提示は行つがどう作るかは基本自由に行なっている。与えられた枠の中で全てが完結するのではなく、たとえば枠を外れたとしてもそこにもまた良さが存在する。創造性の構築はありのままの受け入れと決め付けからの否定を行わない事で構築できるのと思われる。②巧緻性について。手先の器用さは日常において大きな影響を与えている。当たり前であるが「できる」と人は嬉しいものである。これは職員も利用者さんも同じである。自分の力で達成できる事で「やればできる」といった自信が利用者さんの自己肯定感を高められるかも知れない。

③計画性。ここでは主に「順番」を意味している。物作りにおいては当然完成までの工程があり、その工程をしっかりとイメージできていると良いと思われる。順番をイメージしてその順番通りになることを進めていく能力は生活に役立つだろう。

個々の能力に合わせて能力が向上できるように取り組んでいきたい。できることが増えること。その事で嬉しい気持ちになれる。その先にあるのは必ず笑顔である。



いろいろなものを作りました



自分たちの手で作った数々の作品

宮の里ミタスメモリアルホーム

ミスターナーベの手品ショー

10月30日(金)、日中活動にてミスターナーベ(職員の鍋島さん)が手品を披露してくれた。

何もないステッキから花が咲いたり、青色のドラえもんがハンカチで隠して呪文を唱えると黄色のドラえもんになるといった手品からマジシャンの様にびっくりしすぎて耳が大きくなったりと定番?の手品も披露して頂けた。

職員と一緒に利用者さんも驚いたり、ミスターナーベに「がんばれー」と言った声援も上がったりと大変盛り上がった。



呪文を唱えると何が起きるかな?



職員も旗を作って応援



この手品でみんなびっくりするかなー?

みんなでボウリング!!



ストライク狙うよ!



いっぱい倒すぞー!



狙うは優勝!



狙いを定めて!

11月12日(木)、宮の里の食堂にてボウリング大会が開かれた。職員がペットボトルでピンを作るなど手作り感満載のボウリング大会であった。

利用者さんも何処から投げたら全部倒せるか、真剣な表情で狙いを定め、ボールを投げていた。ピンを倒した時には喜びの声も上がった。

ボールを投げる順番待ちをしている利用者さんからも「がんばれー」といった声援も上がり、大いに盛り上がった。

今後も2回目のボウリング大会も開催されるため、練習も含め、みんな真剣に取り組んでいた。

二見生活介護支援センター潮音

一人ひとりに応じたわくわく くつろぎ ときどきの機会を

潮音では、日中活動で個別タイム等を中心にスヌーズレンの時間を設けている。コロナ禍の中、利用人数を5名とし、支援者2名体制としている。(利用時間も30〜40分。暗い空間を作らなければいけないので、制限している。)

特徴としては、可動式なのでレイアウトはその時の状況に合わせて使用できる内容となっている。利用者さんとパートナー(支援者等)とが、共に光・音・におい・振動・感触・動き・揺れ等様々な感覚を体験し、活動的に探索したり、ゆったりくつろいだり…と素敵な時間を一緒に空間で過ごす。

大画面の中、エアレックスマット上でゆっくり大きく体を伸ばされたり、光や凸凹や音を感じる感覚用品を触ったり、ゆったりとする中でもわくわくどきどきがいつぱいだ。ボールプールはスヌーズレン関係なく人気があり、ボールの中に隠れている目の形のボールを探してもらつたが、これがなかなかみつからない！また皆さんにもチャレンジしてほしい。

バランスボールは激しく弾ませて利用される方もあれば、ピーナツ型の為だらうんとぶら下がる方もあり、用途は色々だ。YouTubeにて世界のいろいろな景色や場面を繋げることもでき、いろいろな画像が広がっている。ハンモックでリラックスされる方もおられる。部屋に入ってまず最初に感じてもらうアロマの素敵な香りも好評だ。

※スヌーズレンは造語で、スヌッフレン↓んくん匂いとか、ドゥーズレン↓つつ居眠りをするを組み合わせたものです。1970年代にオランダの重度知的障がい者施設において、安らぎの活動やリラクゼーションの手法としてはじめられた活動です。



なんだろう



うわ〜



一緒にリラックス



貝の形のボールあるかな？



幻想的〜



潮音でのスヌーズレン♪

『英会話教室』in 潮音

以前から朝の会では、英語が得意な利用者さんと今日の日付や曜日、昼食前の口腔ケア体操では英語でカウントをすることがあった。

もっと英語を感じていただ〜と10月に2回、職員を講師に、初めて『英会話教室』を行った。ジャパニーズ英語の発音ではなく、本場の発音はとても新鮮で素敵で、利用者さんは勿論、職員も真剣に聞き入った。少し緊張した雰囲気の中、動物のカードを用いてのマッチングをしたり、音楽を通して皆さんで体を動かした。真剣な表情、笑顔いつぱいの表情、難しそつにされている表情…と様子はさまざまだったが、全体を通して楽しまれた様子だった。

頭の体操に「おちたおちた何がおちた…※Apple(い)つもはリンゴ」が入る」と手で受ける格好をするゲームにも取り入れてみた。

今回の取り組みに、楽しかった〜緊張したわ〜またやってみたい！とお話されていた。家族様からは、「英語楽しかったよつです！」とのご意見。これからも英語に触れる機会を利用者さんの声を聴きながら増やしていきたい。

※には「雷」と「げんこつ」バージョンもあります。その2つも英語となると、とてもいい頭の体操になります。是非やってみてください！



ここかな？



さあ、一緒に〜♪



さあ、皆さんいいですか？



これでいい？ YES Very Good!

「福祉みえ」の表紙を飾る

コロナ禍で暗いニュースが多い中、南勢にステキなニュースが届いた。

三重県社会福祉協議会が発行する広報誌「福祉みえ」に、南勢就労支援センター阪本亮さんの芸術作品が表紙を飾ったのだ。

この作品は昨年12月に開催された「三重県障がい者芸術文化祭」輝けみんなの令和つなげよう みんなの絆」に貼り絵部門で出品し、実行委員会長賞を受賞した作品である。阪本さんの作品は、画用紙に本物の落ち葉や木の実を貼りつけ、背景にはオレンジ色のコンテを指で丁寧に伸ばして、秋の夕暮れ時を表現したもの。さらに地面には白い丸シールで雪を表現し、少し早い冬もイメージ。本人の優しさが伝わる作品に仕上がった。

阪本さんは、にじいろ（生活介護）に通所されている。いつも元気な「おはよう」のあいさつと共に、とびっきりの笑顔で握手をしてくれる阪本さんの存在は、南勢だけでなく隣接する宮の里にも知れわたっている。

南勢では、4年ほど前から芸術文化祭への出展へ参加している。一昨年の青木さんの知事賞受賞に続き、今回の阪本さんの受賞は2年連続の受賞だった。残念ながら、今年の受賞は逃したが、利用者さんの潜在能力を発揮・披露する機会として、これからも芸術文化祭に参加していきたいと思う。



福祉みえ11月号



受賞作品と記念撮影



受賞式の様子



スカイライン展望台にて



作業をする阪本さん

合同慰霊祭

福祉葬祭三重

11月15日(日)、鈴鹿南会館にて、本年度(令和元年7月～令和2年6月葬儀施行)の合同慰霊祭が執り行われた。例年、喪家の皆さまにご列席を賜り、改めて故人様をご供養させていただきたいとの思いから、開催してきたが、本年度は、コロナ禍の為に、皆さまのご列席をいただけないなかでの継続開催をすることとなった。その中で、昨年9月、ご長男を亡くされた野里様ご夫妻、そして今年6月、ご主人(伊勢亀鈴会創設者・小林充氏)を亡くされた奥様が、遺族代表として、ご列席いただいた。慰霊祭は、二部構成で執り行われ、横山理事長、三林施設長、葬祭職員が出席した。まず第一部は、主催者である横山仁司理事長の挨拶、慰霊供養として養元寺ご住職の読経、本年度の物故者645名の名簿が流され、オリジナル礼状のご紹介が行われた。その後、ご遺族代表野里様より追悼の言葉を頂戴し、最後に、想いを込めた献花を供えた。そして第二部は、石井流総師範 石井秀代氏による津軽三味線の演奏が行われ、合同慰霊祭を終了した。尚、喪家の皆さまについては、DMにて合同慰霊祭の開催をお知らせし、写真を送らせていただくこととした。また、12月初旬には、HPにて合同慰霊祭の動画(ダイジェスト版・フルバージョン版)を公開し、福祉葬祭三重のご葬儀に対する姿勢をご理解いただけるよう、繋げていきたいと考えている。



北勢地区



利用者さん・職員による献花



理事長挨拶



読経



ご家族による献花

11月9日(月)、合同慰霊祭及び永大供養法要が、合同慰霊碑前にて行われた。今年は伊勢さけい会の創設者である小林会長、そして20年間八野生活介護センターで暮らされた田中進さんが亡くなられ、驚きと哀しみの広がる年となった。

物故者ご家族、利用者さん、職員によって、黙祷、弔辞、読経、献花が捧げられ、慰霊碑に眠る15名の物故者の皆さんを偲んだ。年に1度の慰霊祭を機会に、先立たれた皆さんが、私たちのすぐそばに建つ慰霊碑から見守って下さっているのを感じる。思いを新たに、力を合わせてこれからの日々を過ごしていきたい。

南勢地区

10月17日(日)、南勢地区の慰霊祭が行われ、寒い中ではあったが厳かに行われた。

慰霊祭に参加した利用者さんが哀悼の祈りを捧げた。利用者代表として潮田美奈子さんが弔辞を述べた。参加者は亡くなられた利用者さんたちとの思い出を想い浮かべ、回想を巡らせていた。



利用者代表して弔辞



利用者によるお焼香

職員の休日

OLIDAY

踊り三昧!!

第2南勢就労支援センター 山田 航平



演舞前 テンション上げて



これがよさこいチーム天戯です!



少人数でもピシッとカッコよく!

第2南勢就労支援センターの山田航平です。

第2南勢に入ってから約2か月、まだまだ戸惑いやわからないことがある中で先輩方にいろいろ教えてもらいながら毎日自分なりに楽しく業務をさせていただいております。

そんな私の休日の過ごし方は、趣味のよさこいソーランを踊ることです。

地元のチームに小学校三年生のころに入って、中学で部活と両立が難しく一度やめていましたが、20歳の時に再び同じチーム「天戯」に戻りました。抜けていた間に30人ほどいたメンバーは10人ほどになり、子供のチームだった天戯はすっかり平均年齢が30歳を超える大人のチームになってしまいました。

そんな天戯の代表はなんと70歳の女性!!昔から変わらさず誰よりも素晴らしい笑顔で天戯の旗を力強く振ってくれています。

そんな代表に負けじと私たち踊り子も笑顔でカッコいい踊りを踊れるように頑張っています。

今年は残念ながらコロナの影響もありなかなか披露できる機会がありません。

イベントがないのは残念ですが、練習でチームの仲間と話したり、振りを合わせていくのはとても楽しく、思いつきり体を動かすのはとても気持ちがいいです。

コロナが落ち着き、またイベントで踊れることを楽しみに待ちながら、今は練習を楽しんでやっていきたいと思っています。



演舞 天邪鬼〜青龍〜



声も張り上げて

きれいサポートステーション

南勢就労支援センター

二見生活介護支援センター潮音



藤井 千加子



南 秀樹



中川 さゆり



大西 清美

宮の里ミタスメモリアルホーム



羽根 ひで子



松山 徹



中井 多津子



長谷川 愛子



畠ヶ山 泉穂

撮影者 第2南勢就労支援センター 本山 清教 通信員

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

今回編集長を務めさせて頂きました、宮の里ミタスメモリアルホームの山口と申します。初めての編集長という事で戸惑う事も多くありましたが、編集委員の方々のおかげで無事発行する事ができました。今回の編集にあたってご協力頂いた方々、ありがとうございました。

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいています。現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいています。現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいています。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター

担当:中野 TEL059-378-8881

宮の里ミタスメモリアルホーム

担当:塩見 TEL0596-58-5030

二見生活介護支援センター潮音

担当:岡島 TEL0596-72-8822

ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

伊勢亀鈴会 法人本部

2020年9月~11月

野里 浩様(福祉葬祭とまかせ太の施主様)

福祉葬祭三重

2020年9月~11月

養元寺様

真善寺様

きれい通信 ちょっと寄り道!!

道の駅「津かわげ」



道の駅 津かわげ



駅内はとても開放的です



津かわげアンパン
生クリーム あんこたっぷり



津ぎようどッグ
ボリューム満点!

2016年4月にオープンした道の駅「津かわげ」。津市を中心とした地元の美味しい食品を取りそろえた人気店です。「海のもの 山のもの 津のもの すべてそろ」という通り、近海でとれた活きの良い魚介、地元生産者のつくる新鮮な野菜やお米、種類豊富な調味料などが、それぞれのコーナーで出迎えてくれます。店内のレストランでは、そうした食材を使用した料理を楽しむこともできます。

パンのコーナーも大人気で、あんこ生クリームのぎゅっしり入ったアンパンは、売り切れも多く、なかなか手に入らないほどです。ボリューム満点の津ぎようどッグも、ファンが多い一品です。

駅長の長谷川氏によれば、リピーター率が8割とのこと。地元で愛されるお店であることがうかがえます。

Access

住所／〒510-0311 津市河芸町三行255番地4
TEL 059-244-2755

またスタッフによって様々なイベントや新商品が企画されており、「道の駅 津かわげ ブログ」にて、日々更新されています。ぜひチェックしてみてください。

コロナ対策として、こまめな消毒やソーシャルディスタンスを意識した座席配置、検温のモニターの設置など、様々な対策が施されています。来店時には、マスク、入り口での手指消毒、密にならないような移動等にご配慮いただき、お買い物をお楽しみください。



指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA八野

〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881代 FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA稲生

〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130代 FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所

八野就労支援センター

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622代 FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉の森の家 体にいいおにぎり屋

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 空羅多ガーデン (くらたがーでん)

〒513-0207 鈴鹿市稲生塚屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ

(第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182

(第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 御糸の杜 (みいとのもり)

〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい みや川

519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所

きれいサポートステーション

〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所・指定一般相談支援事業所

きれいライフステーション

〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

宮の里ミタスメモリアルホーム

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033

e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所

宮の里ライフステーション

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所

二見生活介護支援センター 潮音 (しおね)

〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所

指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所

南勢就労支援センター

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-0101代 FAX0596-58-6742

e-mail nansei@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

お弁当屋 潮音 (しおね)

〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)

TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
e-mail obento-ya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

第2南勢就労支援センター

〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711代 FAX0596-55-3535

e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 白子

〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 津

〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢

〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所

まかせ太君 (鈴鹿)

〒513-0836 鈴鹿市国府町字高群3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所

まかせ太君 (伊勢)

〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451